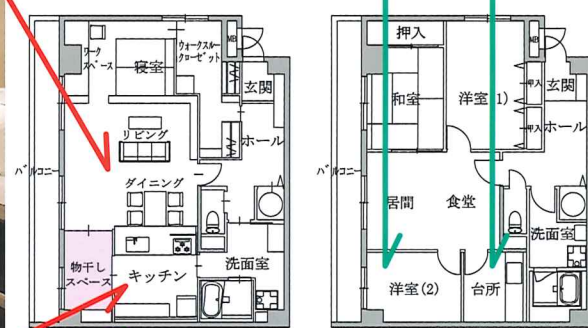
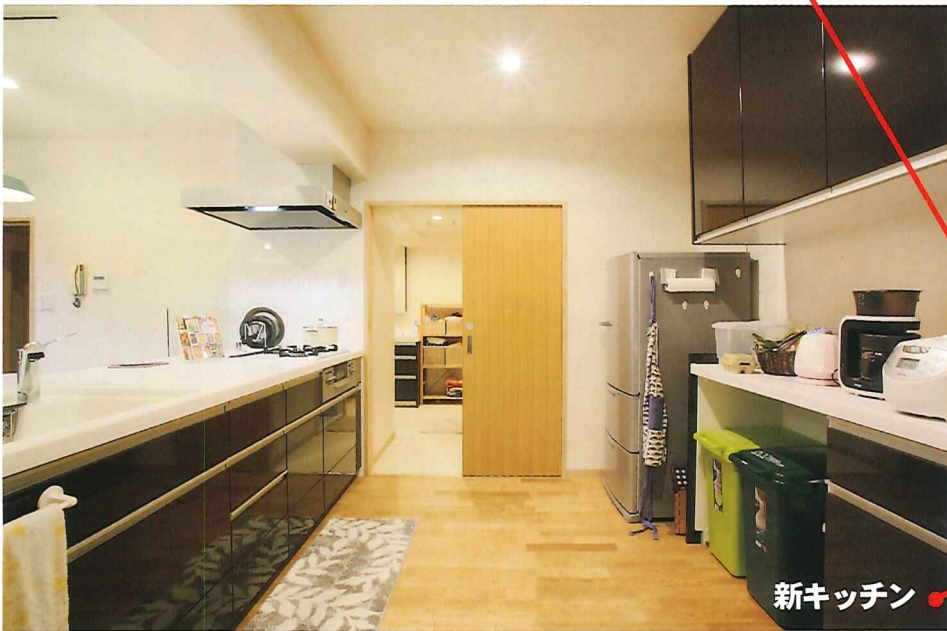


間取り変更リノベーション 4つの事例紹介

これから神奈川県下では住宅ストックがさらに増えていきます。年数が経ってきた住宅を、どのように生き活きと再生し、心豊かな生活の場としていくかが、ますます大事なテーマになっていきます。アイデアのある間取り変更と自然素材の活用で実現した「リノベーション」事例を4つご紹介します。

001 3つに仕切られていた洋室・台所・リビングを、広いワンルームにしました

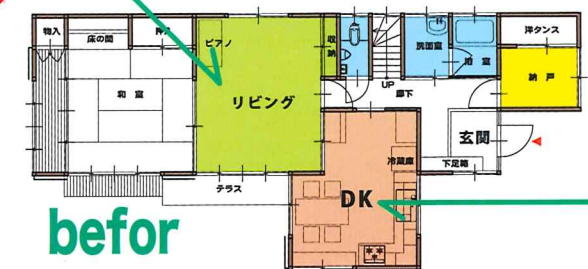
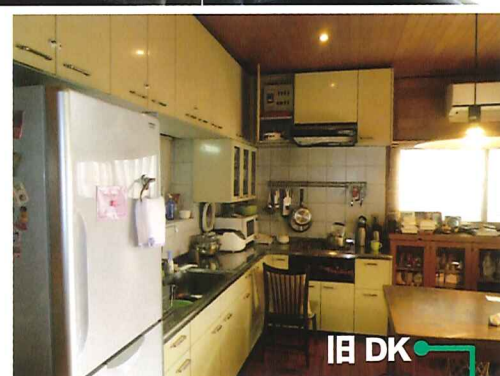
若いご夫妻がマンションに移り住むにあたり、リノベーションのご相談をいただきました。これまで3つに仕切られていた洋室・台所・リビングダイニングの壁を取り払い、広いワンルームにしました。また、北側にあった和室と洋室も壁を取り払い、ワークスペース・寝室・ウォークスルークローゼットにしました。



after before

002 家族の学習・ワークスペースをつくるためにキッチンの場所を変えました

親御さんから引き継いだ昭和の戸建て住宅。現代のライフスタイルにあった住まいとするための、リフォームのご相談をいただきました。場所を取っていたL字型キッチン撤去し、そこを子どもさんたちとYさんご自身のための学習・ワークスペースにしました。



after before





畑仕事のための通り土間が備わった家



寒川町 K 邸 敷地面積：404.06 m² (122.25 坪) 延べ床面積：54.53 m² (16.52 坪)



玄関を入るとダイニングとワークスペースが備わったリビング。通常は引戸を仕舞い、ワンルームでの暮らし。水廻り室への通路の引戸も常に開放しており、目隠しはのれん。掃き出し窓を開ければウッドデッキがもう一つのリビングに。



🍏 去年の7月に完成引き渡しをした愛川町のK邸を訪ねました。これまで暮らしていた家はそのままに、その東側の敷地に軒を連ねて新築した床面積55㎡弱（16・5坪）の平屋です。私たちが訪問したとき、Kさんは畑で作業をされていました。ちょうど旦那さんもトラックで戻られ、ご挨拶ができましたが、またすぐに出かけられていきました。

■ こちらの新築での夏と冬はどうでしたか？

夏は楽でした。風が東西南北によく抜けるように設計してもらいましたので。冬は、元々暖かい格好で過ごす習慣だったので、床暖房も一番低い「1」で間に合いました。

■ この家を建てた経緯を教えてください。

子どもたち家族は近くに住んでいます。私たち二人がこれから年をとっても、ここで生活を全うするためには、家のつくりが大事だと思いました。隣に今もある家は、普段の生活には問題なく、現在も夫はそちらを使っていますが、義父母を介護した際には、トイレの場所が遠い、段差がある、冬が寒い、などの問題を感じました。私たち夫婦の「老々介護」がしやすい住宅を、オルタさんに頼めば設計してもらえると嬉しい、お願いしました。

■ 家の設計について、Kさんから要望したことはありますか？

畑仕事をするので洗い場が必要です。最初に堺原さんが提案してくれたプランでは、隣の家との間に出来上がっている通り土間も建物内に取り入れて設計され、それに、吹き抜けやロフトもありました。しかし、私は夫婦で暮らせる最低限の広さと機能があればよいと考えたので、それらを削って面積を少なくしてもらいました。一方で、ウッドデッキへは、私の居室からだけでなく、夫の居室でもあるリビングスペースからも出られるよう掃き出し窓をつけてもらいました。

■ 1年間住んでみていかがですか？

できるだけ面積が少なく、そのかわり窓がたくさんあって風が良く抜ける「あずまや」のような家でよいと思いながら設計してもらいましたが、八人の大家族で住んでいた隣の家から比べると、完成したときは小さくしすぎたかなと一瞬心配しました。でも、住み始めるとそんな心配は無くなりました。キッチンがごみ入れや収納がキャスター付きで自由に引き出せますが、リビングの押入れにもキャスター付き収納が備わっています。これはものの出し入れがとても楽で、年をとっても安心です。窓を大きく作ってもらったことも気に入っています。最近の住宅は、なんであんなに窓が小さいのでしょうか？窓は風通しだけでなく、景色を楽しむピクチャーウィンドウとしても役割があります。私はカーテンレールが個人的に好きではないので、窓や扉に木の棒を渡してもらい、そこに布をかけて使っています。

将来車椅子になっても、便利に使える家になっていると思います。



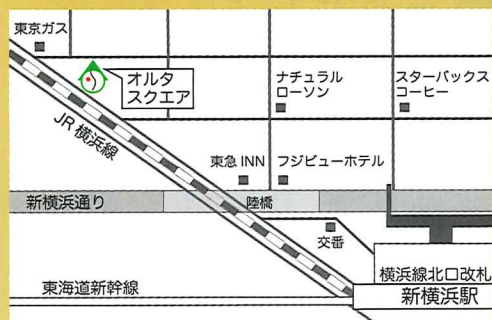
玄関には将来に備えて木の腰かけ椅子。今はまだ物置き。お皿の中にはたくさんの鬼ぐるみ。



居室の収納スペースには扉を付けずに藍染布で目隠し



杉の下見板を外壁としたK邸。隣に立つもう一つの自宅の大きな軒を利用して通り土間を実現しました。勝手口から台所に入ります。土間は洗い場が備わった作業スペースです。



JR 横浜線の線路沿いです



生活クラブの家づくり
オルタスクエア株式会社

<http://www.a-sq.co.jp/>

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F

電話：045(476)1105 (日曜・祭日休)

FAX: 045(476)1106

mail: info@a-sq.co.jp

(ご相談はメールでも受付けています!)



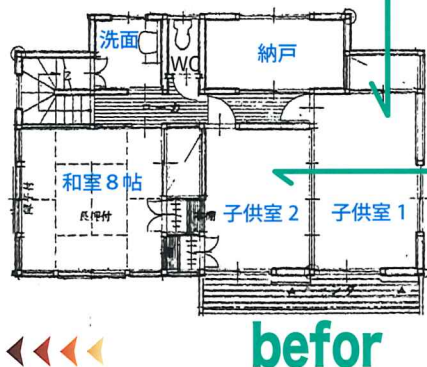
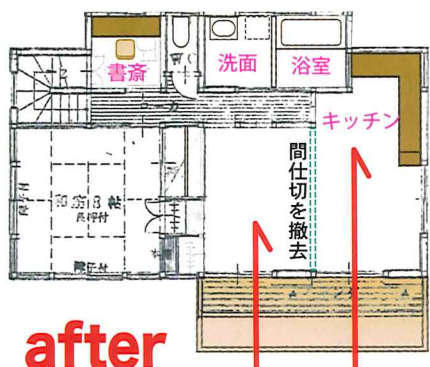
システムキッチンとは違い、大工造作だからミリ単位まで自由に製作可能です。

👑 私たちオルタスクエア株式会社は1998年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

003 ご実家の2階で子どもさん世帯が同居するためのリノベーション

(鎌倉市N・E邸2階)

ご実家から独立して社会人となられたお嬢さんが、3人家族となり、ご実家に戻って同居されることになりました。2階で二部屋に分かれていた洋間の壁を取り払い、キッチンの新設して広々としたLDKを実現しました。併せて、旧納戸スペースに浴室と洗面室を設け、それまでの洗面室は書斎に生まれ変わりました。



旧 子供室 2



旧 子供室 1

リノベーション前の子供室



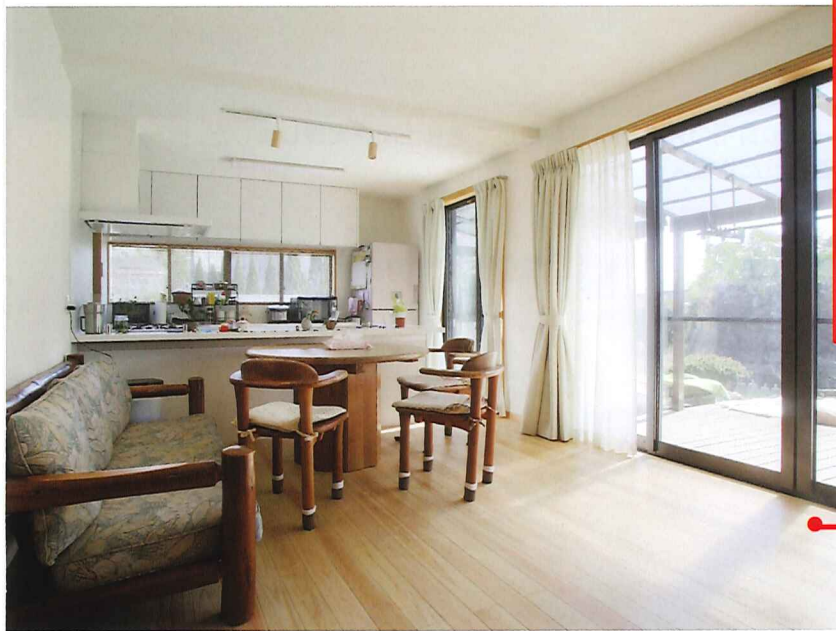
木の面材とタイルで仕上げたアンティークな雰囲気
のキッチン。壁に小さく採風窓を開口しました。



昔の台所はFさんのくつろぎワークスペースに



キッチンから北側のくつろぎワークスペースへ



キッチンが南側に移り、ダイニングとリビングも一緒になり、
広々した明るいLDKになりました



旧 リビング



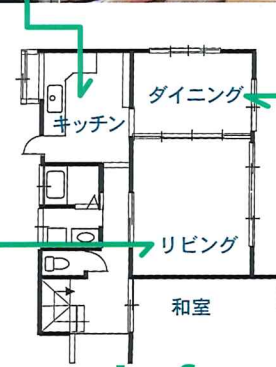
旧 キッチン



旧 ダイニング



after



befor

004 北側に孤立していたキッチンを、明るく広々とした南側のLDKに持ってきました

(厚木市F邸)

これまでのF邸1階間取りでは、北側にキッチンが孤立していました。家族がくつろぐリビングとはダイニングルームで隔てられており、みんながテレビを楽しんでいるときに一人孤独に炊事をする事もありました。そこで、お家のリフォームに合わせて、対面式キッチンを南側に持ってきて広々と明るいLDKを実現。旧キッチンは、Fさんのくつろぎワークスペースになりました。家族で壁の漆喰塗りをするなど、楽しい共同体験の機会にもなりました。